

「ひきこもり」にかかわるすべての皆さんと 共に学ぶ研修会（オンライン開催）

～全世代に渡る多様なひきこもり支援の実践を通して
ひきこもる本人とその家族を理解する～

サポートを求めているもつなげられない ひきこもりの現状

当会の最新の実態調査(2023)では、ひきこもっている本人の 85%、家族の 78%が支援を必要としています。しかしながら、求めているもサポートを受けていない本人は 70%に上り、家族以外とのつながりが無い本人は 40%という結果が出ています。

本人は何らかのサポートを望んではいらぬものの、自分に合うサービス、利用できる資源（人、モノ、環境、制度）が限られている現状が全国の実態調査から顕在化しました。医療機関の受診が困難な方も 37.6%に上り、障害福祉サービスの利用率に至っては 20%にとどまります。

ひきこもり状態とは、さまざまな要因によって社会や地域、学校や職場からの退避を余儀なくされ、ひきこもることを選択せざるをえなかった状態像です。当会は設立から 20 年以上、「ひきこもりは甘え、怠け、親の育て方、本人の努力不足」という偏見、「ひきこもりは悪いこと、外に出さねばならない」という現状否定、世間体や社会の同調圧力から、いつしか本音を出せなくなってしまった多くの痛みと経験から活動を続けています。

全世代に渡る「ひきこもり」という状態像は、現在では、8050 問題に顕著なように、ご本人とその家族（親・きょうだい）が置かれた多様な背景、社会の壁など、いくつもの要因が複合化しています。支援における関係づくりのためには、現状への多様な「理解」が必要不可欠です。

では一体、サポートの場に携わる私たちは、どのような目線でかかわりを持っていければいいのでしょうか。当会 KHJ では、全国の実践者、専門家、有識者と連携しながら、それぞれの「人権と権利擁護」や「人としての尊厳」を最優先に、本人視点での理解、本人の思いに耳を傾けられる関係づくり、否定されない環境や一歩を踏み出すためのきっかけづくり、本人の自己決定を応援、伴走できる（応援団、伴走者としての）本人支援、家族支援を推進しています。

本研修会が、全国の相談窓口や、支援現場、8050 世帯などへの福祉丸ごと支援、居場所、地域の集いなど、さまざまなサポート実践の一助となれば幸いです。

開催日: 毎月第 4 日曜日 (8月のみ第3日曜日開催)

午前9時00分～12時50分

(入室は午前 8 時 50 分までにお済ませください)

※終了時間は、開催月により異なります

※研修内容・日時の詳細は、次ページ以降をご参照ください

【2024年度の月別・研修科目】

<2024年 令和6年>

- 7月度：7月28日（日）ひきこもりに関する基本的理解
- 8月度：8月18日（日）ピアサポート、居場所、家族会 ～本人・家族の体験～
- 9月度：9月22日（日）「社会モデル」としてのひきこもり支援
- 10月度：10月27日（日）本人の視点を尊重する支援
- 11月度：11月24日（日）本人と家族とのかかわり続ける支援
- 12月度：12月22日（日）本人の意思を尊重した家族支援の実践（親・きょうだい）

<2025年 令和7年>

- 1月度：1月26日（日）ひきこもりを取り巻く地域・環境づくり
- 2月度：2月23日（日）多様な状況（8050、孤立、危機的状況）を連携実践事例から考える
- 3月度：3月23日（日）地域連携とワークショップ（対話をういた関係づくりワーク）

※各科目の最後には10分間の質疑応答と10分間の休憩時間を設けます。

【7月度：ひきこもりに関する基本的理解】

2024年7月28日（日） 午前9時00分～12時50分

No.	研修時間	研修科目
1	9:00～10:10 (質疑応答10分含む)	国の施策とひきこもりの実態 ～KHJ実態調査から～ ・ひきこもり基本法の法制化の意義とKHJ実態調査から窺えるひきこもりの現状と課題を学びます。 講師：藤岡 清人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会 共同代表 / KHJ広島もみじの会 代表 講師：田中 義和 KHJ全国ひきこもり家族会連合会 理事 / NPO 法人東海なでしこの会 代表
2	10:20～11:30 (質疑応答10分含む)	ひきこもりへの理解と社会情勢 ・ひきこもる本人の心情と社会状況、本人の経験から学ぶ姿勢、支援者との対等な意見交換の意義を学びます。 講師：池上 正樹（ジャーナリスト） KHJ全国ひきこもり家族会連合会 副理事長
3	11:40～12:50 (質疑応答10分含む)	家族会の事例発表 ～訪問支援の失敗により20年ひきこもった息子との時間を振り返る～ ・事例を通じて、家族会が本人や家族にもたらす効果を学びます。またひきこもり女子会の必要性も学びます。 講師：山本 洋見（家族相談士） KHJ全国ひきこもり家族会連合会 共同代表 / NPO 法人てくてく 代表

【8月度：ピアサポート 居場所 家族会 ～家族の体験 本人の体験～】

2024年8月18日(日)開催 午前9時00分～12時50分

No.	研修時間	研修科目
1	9:00～10:10 (質疑応答 10分含む)	ピアサポートとは？ ～地域で共に暮らすため～ 〈コミュニティー・インクルージョン〉 ・ピアサポートの意義と、地域社会での生活におけるピアサポートの役割を学びます。 講師：相川 章子（人間学博士、精神保健福祉士） 聖学院大学 心理福祉学部 教授
2	10:20～10:40	家族会でピアサポートができること ～あなたはひとりじゃない～ ・家族会におけるピアサポート実践と支援者の協働を学びます。 講師：上田 理香（公認心理師、家族支援士） KHJ全国ひきこもり家族会連合会 本部事務局長・ピアサポーター
3	10:40～11:20 (科目2と併せて、質疑 応答 10分含む)	ピアサポートの実践 ～高知ピアサポートセンターの取り組み～ ・ピアサポーター本人の経験に基づく活動内容を学びます。 講師：坂本 勲 ・ ピアサポーター KHJ全国ひきこもり家族会連合会 理事 /KHJ高知県親の会「やいろ鳥」の会 代表
4	11:30～12:10 (質疑応答 10分含む)	居場所におけるピアサポート ～リアル、オンライン、メタバース～ ・居場所が本人や家族に必要な理由と、居場所におけるピアサポーターの活動内容を学びます。 講師：田中 敦（社会福祉士） KHJ全国ひきこもり家族会連合会 理事 /NPO 法人レターポスト・フレンド・ネットワーク 代表
5	12:10～12:50 (質疑応答 10分含む)	家族・本人の抱える葛藤と教育から8050問題まで ～官民連携とピアサポート～ ・家族、本人の抱える葛藤、特に親亡き後について、また教育分野等関係機関とのピアサポーターの連携実践を学びます。 講師：日花 睦子 KHJ全国ひきこもり家族会連合会 理事 / KHJ 大阪虹の会

【9月度：「社会モデル」としてのひきこもり支援】

2024年9月22日(日)開催 午前9時00分～12時50分

No.	研修時間	研修科目
1	9:00～10:10 (質疑応答 10分含む)	医療モデルから社会モデルへの理解 ・ひきこもりを個人の問題としてではなく、社会の問題として捉える「社会モデル」による支援を学びます。 講師：長谷川 俊雄 (社会福祉士、精神保健福祉士) 白梅学園大学名誉教授、NPO 法人つながる会 代表理事
2	10:20～11:30 (質疑応答 10分含む)	本人の声に耳を傾ける ・ひきこもり UX 会議の実態調査に上がった本人の声から本人が望む支援、必要なかわり、支援体制の課題を学びます。 講師：林 恭子 一般社団法人ひきこもり UX 会議 代表理事
3	11:40～12:50 (質疑応答 10分含む)	家族の葛藤と社会保障 ・家族が問題を抱え込まざるをえない社会構造と、個人の権利を守るための支援の仕組みについて学びます。 講師：関水 徹平 (社会学者) 明治学院大学社会学部 社会福祉学科 准教授

【10月度：本人の視点を尊重する支援】

2024年10月27日(日)開催 午前9時00分～12時50分

No.	研修時間	研修科目
1	9:00～10:10 (質疑応答 10分含む)	地域医療から支援を考える ・地域における医療的支援及び、必要としていても受診につながらない場合の対応、支援者自身のメンタルヘルスについて学びます。 講師：山崎 正雄 (精神科医師) 高知県精神保健福祉センター 所長
2	10:20～11:30 (質疑応答 10分含む)	当事者研究から学ぶ本人の視点 ・自分の価値を取り戻すための当事者活動を知り、本人の視点を学びます。 講師：伊藤 康貴 (社会学博士) 大手前大学現代社会学部 准教授
3	11:40～12:50 (質疑応答 10分含む)	ソーシャルワーク的な観点からの支援アプローチ ・ひきこもりの権利擁護とアセスメント、親亡き後などの諸課題における意思決定支援を学びます。 講師：深谷 守貞 (社会福祉士) KHJ全国ひきこもり家族会連合会 本部・ソーシャルワーカー

【11月度：本人・家族とかがわり続けるための関係づくり】

2024年11月24日(日)開催 午前9時00分～12時30分

No.	研修時間	研修科目
1	9:00～10:40 (質疑応答 10分含む)	<p>本人・家族が望む、かがわり続ける支援 ～支援途絶の背景と、第三者とつながるタイミングを考える～</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援につながっても回避や途絶に至る理由、家族以外の第三者との関りのタイミングとは？ キーパーソンである家族を支える実践を、地域家族会での活動事例を通じて学びます。 <p>講師: 上田 理香 (公認心理師、家族支援士) KHJ全国ひきこもり家族会連合会 本部事務局長・ピアサポーター</p>
2	10:50～12:30 (質疑応答 10分含む)	<p>本人・家族とのかがり方を考える～プロセスレコードの活用～</p> <ul style="list-style-type: none"> プロセスレコードを用いて、支援実践場面、特に関係づくりにおいて気になった場面を振り返り、かがわり方の理解につなげます。 <p>講師: 斎藤 まさ子 (精神看護学) 長岡崇徳大学 客員教授</p>

【12月度：本人の意思を尊重した家族支援 (親・きょうだい)】

2024年12月22日(日)開催 午前9時00分～12時50分

No.	研修時間	研修科目
1	9:00～10:20 (質疑応答 10分含む)	<p>家族支援の基本的理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族の心理状況の理解と支援におけるアセスメントの基礎、支援実践としてのCRAFTについて学びます。 <p>講師: 境 泉洋 (公認心理師、臨床心理士) 宮崎大学教育学部 教授 / KHJ全国ひきこもり家族会連合会 理事</p>
2	10:30～11:50 (質疑応答 10分含む)	<p>本人と家族のエンパワメントを促す心理支援アプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> 本人や家族に寄り添うアセスメント、エンパワメント、伴走的支援の視点 社会状況を踏まえての不登校対応、自治体との連携を学びます。 <p>講師: 徳丸 亨 (公認心理師、臨床心理士) 立正大学心理学部 准教授</p>
3	12:00～12:50 (質疑応答 10分含む)	<p>親とは異なる兄弟姉妹への支援アプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> きょうだいの置かれた立場と本人・親との距離感、支援の留意点 8050におけるきょうだいへの対応を学びます。 <p>講師: 深谷 守貞 (社会福祉士) KHJ全国ひきこもり家族会連合会 本部・ソーシャルワーカー</p>

【1月度：ひきこもりを取り巻く地域・環境づくり】

2025年1月26日(日)開催 午前9時00分～12時50分

No.	研修時間	研修科目
1	9:00～10:10 (質疑応答 10分含む)	地域住民への理解促進 ・地域住民へのひきこもりの理解促進、ネットワークの構築と活用、ひきこもりと防災について学びます。 講師：中井 俊雄 (認定社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師) ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 准教授
2	10:20～11:30 (質疑応答 10分含む)	地域に居場所をつくる ～暮らし・住まい・お金のこと～ ・物心両面のサポート、ひとり暮らしへの対応、居場所の活用を学びます。 講師：阿部 達明 (1級ファイナンシャル・プランニング技能士) NPO 法人楽の会リーラ 副理事長
3	11:40～12:50 (質疑応答 10分含む)	8050 問題と人権、地域での多様な働き方、メタバース居場所 ・超短時間雇用や在宅ワーク等の多様な働き方、引き出し業者の実態、メタバース居場所の活用について学びます。 講師：池上 正樹 (ジャーナリスト) KHJ全国ひきこもり家族会連合会 副理事長

【2月度：多様な状況を実践事例から考える】

2025年2月23日(日)開催 午前9時00分～12時30分

No.	研修時間	研修科目
1	9:00～10:40 (質疑応答 10分含む)	地域で孤立している方への多様な支援 ～8050実践事例から考える孤立対応と連携～ ・孤立する本人と家族への対応、多機関連携のケース共有、長期ケースの本人との関わりについて、8050 実践事例を通じて学びます。 講師：岡田 伊弘 (社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師、介護支援専門員) 日野市くらしの自立相談支援窓口みらいと 自立相談支援員
2	10:50～12:30 (質疑応答 10分含む)	危機対応と多職種・多機関連携 ～実践事例を通じて、危機対応を考える～ ・家庭内暴力やセルフネグレクトなどの危機的場面の対応について、実践事例を通じて学びます。 講師：深谷 守貞 (社会福祉士) KHJ全国ひきこもり家族会連合会 本部・ソーシャルワーカー

【3月度：地域連携とワークショップ（対話を用いた関係づくりワーク）】

2025年3月23日(日)開催 午前9時00分～12時30分

No.	研修時間	研修科目
1	9:00～10:10 (質疑応答 10分含む)	不登校支援と家族会発足、官民連携について ・不登校支援を通じた官民連携の意義、家族会の発足について学びます。 講師：高和 正純 KHJ全国ひきこもり家族会連合会 理事 / NPO 法人はあとぴあ21 理事長
2	10:20～12:30 (質疑応答 10分含む)	ワークショップ：対話を用いた関係づくり ・相談の場で、本人家族が安心して話せる場を作ることを目的に参加者間でグループに分かれて、対話を用いた関係づくりのワークショップを行います。 講師：福井 里江（公認心理師、臨床心理士） 東京学芸大学教育学部 教授 講師：上田 理香（公認心理師、家族支援士） KHJ全国ひきこもり家族会連合会 本部事務局長・ピアサポーター

【参加対象】

ひきこもりの支援活動に携わり、実際にひきこもりのケースを有している方
ひきこもりへの理解、及び、支援に関心のある方

【参加費】 ※研修会は個人でのお申込みになります。

事業者で複数名参加の場合でも、お一人ずつお申込みください。

- 開催日当日のオンライン参加：開催日ごとに、おひとり5,500円（税込）
- 開催後のオンデマンド配信希望：開催日ごとに、おひとり5,500円（税込）
- 当日参加とオンデマンド配信の両方を希望：開催日ごとに、おひとり8,800円（税込）
- 全9回の講座を一括申込の場合は、受講費が1回分割引となります 44,000円(税込)
(一括申込の場合は、開催日ごとに、当日参加もしくはオンデマンドどちらを選んでも可)

※オンデマンド配信期間は2週間を予定しています(講師によって1週間限定の場合もあり)

※配信開始は、開催後およそ1か月後を予定しています。

適格請求書発行事業者登録番号：T5030005002918

【お申込みの手順と研修の参加方法】

参加をご希望の際は、下記の(1)～(6)の項目をご記入のうえ、必ず「メール」でお申し込みください。

- (1) お名前(ふりがな)
- (2) ご所属
- (3) 郵便番号・住所
- (4) 電話番号(研修当日に連絡のつく番号)
- (5) 研修に参加される方のメールアドレス

※一つの事業所で複数名の参加を希望される場合は、ご一緒に参加する方のお名前と個々のメールアドレス・電話番号もお書き添えください。

- (6) 希望する開催月及び、当日参加かオンデマンド配信希望か、両方希望か。
(7月度～3月度のうち、参加をご希望する開催月と参加形式をお書きください)
※複数月の参加の場合は、まとめて参加費のお振込みをお願いしております。
※締切前であれば、後から、追加のお申込みも可能です。
※開催週の(火)を過ぎてのキャンセルの場合、原則、返金はできませんのでご了承ください。
- (7) 請求書や領収書の有無 (必要な場合は、宛名と但し書きをご記入ください)

【お申し込みのアドレス】 (lecture は「レクチャー」の綴りです)

lecture@khj-h.com 「KHJ ひきこもり支援研修(毎月開催編)」係
※メールにて「参加費振込案内」をご返信いたします。

【申込締切】 研修開催日の週(第4週、8月は第3週)の火曜日までに
メールでのお申込みと、下記口座まで振込みをお願いします。

【振込先】※申込と同時の振込が難しい場合は、その旨、メール内に振込予定日をお書き添えください。

ゆうちょ銀行 総合:10150-48439951 他行から(普通:〇一八店 4843995)

特定非営利活動法人KHJ全国ひきこもり家

トクヒ)ケイエイチジェイゼンコクヒキコモリカゾクカイレ

※法人名が長いので途中で切れておりますが、この名義になります。

- お申込みされた方には第4週の金曜日を目途に、「研修テキスト」のダウンロード先、及び「参加される Zoom アドレス」の ID とパスワードをお申込み時のメールアドレス(参加申込者)にお送りします。
- 事前にテキストをダウンロードの上、研修にご参加ください。
- 参加者自身の PC 環境の不具合などによる接続の不具合、画像の乱れ、また不具合による研修不参加については、当会では対応できかねます。お手持ちの端末の Wi-fi 環境などは十分にご留意ください。予めご了承ください。
- 個人情報は適切に管理し、研修事業のみに使用いたします。

【お問い合わせ】

特定非営利活動法人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-16-12-301

E-mail: lecture@khj-h.com

<http://www.khj-h.com>